

## 益田市自転車活用推進計画 R4進捗調査表

自転車に親しむ機会の創出								
基本方針	Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換							
方向性	9_自転車に親しむ機会の創出							
施策	12 誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催（長期）							
実施主体	団体企業							
進捗管理	指標	市民向けサイクリングイベントの開催						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	評価基準 A期待以上 B期待通り C期待を下回る D未着手	目標	-	5回	5回	6回	7回	8回
		実績	5回	1回	2回	4回		
	評価	-	C	C	C			
取組内容	<p>市民向けサイクルイベントの開催。</p> <p>①Pegasusクラブ（益田市自転車活用推進事業補助金）            イベント名：益田のアクティビティ体験（サイクリングとカヤック体験）            開催日：令和4年9月4日（日）（11/6「ますだ産業祭」で活動写真展示）            参加人数：11名（ますだ産業祭は、全体で約7,000人来場）</p> <p>②高津つろうて子育て協議会（益田市自転車活用推進事業補助金）            イベント名：よくばりアウトドア体験（デイキャンプ、サイクリングと乗り方教室）            開催日：令和4年10月23日（日）            参加人数：13名（中学生以上。デイキャンプ参加者は120名）</p> <p>③ふおとみ            イベント名：日本遺産×カメラ女子「自転車で御朱印のある神社仏閣めぐり」            開催日：令和4年11月13日（日）            参加人数：13名</p> <p>④益田市（アイルランド交流事業）            イベント名：メダリストとサイクリングをしよう！！            開催日：令和4年11月23日（祝・水）            参加人数：18名</p>							
評価理由	自転車を活用したイベントが徐々に再開している。							
今後取組	市民団体や企業等が実施する市民向けイベントの開催支援を検討する。（補助金の内容、募集テーマ、団体企業への周知方法等を検討。）							

自転車に親しむ機会の創出								
基本方針	II 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換							
方向性	9_自転車に親しむ機会の創出							
施策	13 初心者から参加できる自転車教室の開催（短期）							
実施主体	団体企業							
進捗管理	指標	スポーツ自転車体験教室の開催						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	評価基準 A期待以上 B期待通り C期待を下回る D未着手	目標	-	2回	2回	4回	4回	4回
		実績	2回	0回	0回	1回		
	評価	-	C	C	C			
取組内容	<p>学校を対象としたイベントの実施はなかったが、「益田市自転車活用推進事業補助金」を活用し市民向けサイクルイベントに合わせて、スポーツ自転車乗り方教室が実施された。</p> <p>①はじめてのよくばりチャリダー（実施：高津地区つろうて子育て協議会）</p> <p>デイキャンプイベントの開催に合わせてスポーツ自転車教室を実施し、サイクリングを行った。</p>							
評価理由	自転車体験教室の実施があったため							
今後取組	<p>民間団体や企業がスポーツ自転車体験教室等を開催するための支援を検討する。（補助金の内容、募集テーマ、団体企業への周知方法等を検討。）</p> <p>学校においては、来年度以降、警察署が開催する自転車交通安全教室時に子ども対象のリーフレットを配布し、安全な自転車利用を呼び掛ける。</p>							
14 自転車による健康教室の開催（短期）								
実施主体	団体企業							
進捗管理	指標	自転車による健康教室の開催						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	評価基準 A期待以上 B期待通り C期待を下回る D未着手	目標	-	2回	2回	2回	2回	2回
		実績	0回	0回	0回	0回		
	評価	-	C	C	C			
取組内容	<p>自転車に特化した健康教室の開催は難しかったため、まずは自転車の取り組みについての普及啓発を10/23に開催した健康ますだ市21フェスティバルで実施。</p> <p>補助金について、団体企業からの申請はなし。</p>							
評価理由	自転車に関する専門知識や指導スキルが必要であり、自転車に特化した内容を現行の健康教室に組み入れるのは難しく実績がなかったため。							
今後取組	<p>健康づくりのために、運動習慣を定着の啓発は必要であり、自転車を含め、運動に関する普及啓発活動は継続実施。</p> <p>民間団体や企業が健康教室に自転車を活用し開催できるよう支援を検討する。（補助金の内容、募集テーマ、団体企業地域への周知方法等を検討。）</p>							

サイクリストの受け入れ体制								
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる威力ある観光地域							
方向性	11_サイクリストの受け入れ体制の整備							
施策	18 サイクリストサポート体制の充実化（長期）							
実施主体	団体企業							
進捗管理	指標	益田市サイクルサポート企業数						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	評価基準 A期待以上	目標	-	100事業所	100事業所	100事業所	100事業所	100事業所
	B期待通り	実績	77事業所	104事業所	111事業所	114事業所		
	C期待を下回る D未着手	評価	-	A	A	A		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市HP、益田市観光協会HPでの情報発信と登録企業の周知</li> <li>・高津川流域都市交流協議会HPでの情報発信</li> </ul>							
評価理由	目標としていた100事業所を達成し、増加しているため。							
今後取組	継続してHP等で登録の呼びかけを実施。							

交通安全教室の推進								
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり							
方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進							
施策	32 保幼小・小・中・高における各年齢段階での交通安全教室の推進（長期）							
実施主体	団体企業							
進捗管理	指標	交通安全教室の開催（小中学校で卒業までに受講できる平均回数）						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	評価基準 A期待以上 B期待通り C期待を下回る D未着手	目標	-	全学年 年1回	全学年 年1回	全学年 年1回	全学年 年1回	全学年 年1回
	実績	保幼小 0回 小学校 3.1回 中学校 1.1回	保幼小 0回 小学校 4.1回 中学校 0.9回	保幼小 0回 小学校 4.8回 中学校 0.9回	保幼小 0回 小学校 4.5回 中学校 1.1回			
	評価	-	B	C	C			
取組内容	保幼小（児童クラブ）では実績なし。 小学校では平均4.5回、中学校では平均1.1回交通安全教室を開催。							
評価理由	小中学校期においては、様々な安全教育を行う必要がある。近年は特に緊急的な対応として、感染症対策に関する教育に重点を置いたため、交通安全教室の全学年開催には至らなかった。							
今後取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育も必要に応じて適切に行っていく必要がある。引き続き各小中学校に働きかけていく。</li> <li>保幼小及び放課後児童クラブでの各種交通安全イベントの実施を促す。</li> </ul>							

交通安全教室の推進							
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり						
方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進						
施策	35 高齢者に対する交通安全教育の推進（長期）						
実施主体	団体企業						
進捗管理	指標	交通安全教室の開催					
		R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標	-	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	0回	0回	0回	1回		
	評価	-	C	C	B		
取組内容	益田市老人クラブ連合会による、高齢者の運転マナー講習会の開催。 開催日：8月25日(木) 会場：益田市総合福祉センター 参加者：56名						
評価理由	老人クラブ連合会において交通安全教室が実施された。						
今後取組	老人クラブ等の団体に対し、交通安全教室等の開催を働きかける。						
施策	36 障がい者に対する交通安全教育の推進（長期）						
実施主体	団体企業						
進捗管理	指標	交通安全教室の開催					
		R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標	-	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	0回	0回	0回	0回		
	評価	-	C	C	C		
取組内容	過去において取組み実績なしのため、自立支援協議会(運営会議)において、交通安全教室について検討したが、取組案が出ず、自立支援協議会（全体会）で提起することが出来なかった。						
評価理由	実績がなかったため。						
今後取組	まずは事務局（障がい者福祉課）で取組案を作成し、交通安全教室の開催について検討するとともに、事業所等にも周知をはかる。						